

デイヴィッド・ピーデン

国際的に活躍するゲスト教師に、アマンダ・ジェニングズがお話を伺いました。

ジェニングズ(以下AJ)：バレエを始めたきっかけは？

ピーデン(以下DP)：姉がスコティッシュ・バレエにいたんです。私は元々、ジーン・ケリーのようなタップダンサーになりたいと思っていました。フレッド・アステアも好きでしたが、ケリーの荒削りな男っぽさは特別でした。彼女がエジンバラのバレエ学校で学んでいた頃、ついて行って見たことがありました。9歳の頃で、当時はバレエには興味がなかったのですが、周りに勧められてクラスを受けてみて、その瞬間からバレエに魅了されました。その時指導していたイヴリン・ジョンソンの勧めで、ロイヤル・バレエ・スクールのオーディションを受けました。

AJ：そしてロイヤル・バレエに入り、ダンサーとして活躍なさいましたが、その後は？

DP：ナショナル・バレエ・オブ・カナダに移りました。ロイヤルとほぼ同じレパートリーを持つ素晴らしいカンパニーで、エリック・ブルーンを引き継いだリン・ウォリスとヴァレリー・ワイルダーの監督の下で3年間過ごしました。二人が辞めたときに、私もシアトルのパシフィック・ノースウェスト・バレエに移りました。当時の監督は、フランシア・ラッセルとケント・ストウェルです。その後は、コンテンポラリー寄りのバレエ・ブリティッシュ・コロombiaへ。こんな風に踊ってきて、やがて、そろそろ引退すべきだと考えはじめたのです。

AJ：教師としてのトレーニングは、受けられたのですか？

DP：はい。ブリティッシュ・コロombiaを退団した後英国に戻りイングリッシュ・ナショナル・バレエで一年半踊ったのですが、その間に9ヶ月間、ロイヤル・アカデミー・オブ・ダンシング(現ロイヤル・アカデミー・オブ・ダンス)のブ



デイヴィッド・ピーデン Photo by courtesy of David Peden

ロ・ダンサーのための指導コースを受講しました。じつはその前にも多少教えていて、全て分かっている気になっていたんです!でも、このコースを受けて、ステップをどのように分解して教えるか、どのように比喻を用い視覚的に伝えたらいいかなどが理解できました。その内容は、今もとても役立っています。小さい子供が相手でも説明に困りません。音楽やベネッシュ・ノーテーションについて学んだのもこの時でした。バレエ学校時代にもノーテーションの授業はありましたが大嫌い、いつも居眠りしていました。けれどもここで学び直していて、昔の知識が突然自分の中で息づいてきたんです。楽しい経験でした。

AJ：世界中でゲスト教師として引く手あまたなので、多くのメソッドを見てこられたでしょうね。様々なタイプのトレーニング法について、どのような印象をお持ちですか？

DP：ロイヤル・バレエのダンサーには、つねにクリーンなテクニックがありますね。ダンス・スタイル、クオリティ、ライン、音楽性の意識は他の国でも高く、同じような資質が見られます。たとえば、ニュージーランド・スクール・オブ・ダンス。指導者のギャリー・トリンダーが実績を上げています。バーゼル歌劇場バレエ・スクールのアマンダ・ベネットも優

れた指導者ですが、このバレエ団はコンテンポラリーなので、彼女は苦勞していますね…

アメリカ人やオーストラリア人のダンサーには動きの自由さや覇気があって素晴らしく、恐れ知らずです。ロシア人にもそれがいえますね。けれども、動きの形は維持しなくてはいけないし、終わりはきちんと決めないとラインや型が崩れてしまいます。私はいつもダンサーに、「もっとも大事なものは、始めと終わりだよ」と言っています。ソロを踊るなら、観客が思わず姿勢を正すように登場するように。顔色を伺うような態度はいけません。そして、ヴァリエーションの間に何が起ころうと、たとえ派手に転んでしまっても、最後が決まれば許してもらえるものなんです。

AJ：主宰なさっているゲイリーン・ストック・メモリアル・アワードについて教えてください。

DP：ゲイリーンは日本のダンサーが大好きだったので、中村道子さんとともに東京でこの催しを立ち上げました。今年で3年になりますが、コンクールではなく3~4日間のワークショップとして開催しています。生徒たちの音楽性や技術の向上、エクササイズを理解力、注意への反応の仕方、期間中の成長ぶりなどをチェックし、4人の参加者にカナダ、バーゼル、ニュージーランド・スクール・オブ・ダンス、オーストラリア・バレエ・スクールでの2週間もしくは4週間のスカラシップを授与します。今は日本だけでの開催ですが、拡大していきたいと思っています。去年はヤスミン・ナグデイが来て『眠れる森の美女』の幻影の場を指導してくれ、私も『レ・ランデヴー』の一部を教えました。こうして次の世代にレガシーを手渡していくのはうれしいことです。

(訳:長野由紀)

元ロイヤル・バレエ・スクール校長で2014年に亡くなったゲイリーン・ストックを記念するゲイリーン・ストック・メモリアル・アワードについての詳細は、ホームページをご覧ください。
<http://gsma.jp>